



# TSK 株主通信

第159期 中間のご報告

2020年4月1日から2020年9月30日まで

## CONTENTS

ごあいさつ	1
事業概要	3
連結財務諸表(要約)	5
トピックス	7
CSRへの取り組み	12
株式の状況および株主優待制度	13
会社情報	14

# 環境技術で世界に貢献する

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに当社第159期中間期\*（2020年4月1日から2020年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

1905年の創業以来、私たち月島機械グループは、常に社会とそこに暮らす人々への想いを「技術」で示してまいりました。様々な産業の基盤となるプラント設備や装置、日常生活に無くてはならない社会インフラの一つである上下水道設備など、それぞれの領域における時代の要請に応じて技術を開発・発展させ、社会と地球環境に貢献する企業として歩み続け、現在に至っております。

当社グループは現在、昨年5月に公表しました中期経営計画の2年目を迎えておりますが、「経営基盤の強化」と「成長戦略の推進」という基本方針のもと、鋭意事業活動を進めております。

当社グループは「わが社は最良の技術をもって産業の発展と環境保全に寄与し、社会に貢献します」という企業理念のもと、各種インフラ整備をになうプラントエンジニアリング会社としての責任を果たし、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。また、環境技術で世界に貢献できるよう、日々の事業活動に精進してまいり所存です。

株主の皆様からの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役会長 山田 和孝



代表取締役社長 福沢 義之

## Q1

### 月島機械グループを取り巻く事業環境についてお聞かせください。

国内においては米中貿易摩擦に加え新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界経済が急速に悪化し、先行きが不透明な状況になっております。海外においても、感染拡大により経済活動の停滞および長期化が懸念されており、世界経済の減速リスクに留意する必要があります。

このような環境のもとで当社グループは、2019年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画に取り組んでおり、国内外における公共投資、民間設備投資ならびに環境関連投資の需要を取り込むことで、受注の確保・拡大を推進しております。

## Q2

### 中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

中期経営計画においては、「経営基盤の強化」と「成長戦略の推進」という2つの基本方針を展開しております。

「経営基盤の強化」について、基礎収益力の向上、グループ全体の連携強化、働き方改革を推進しております。コロナ禍における新しい働き方として、在宅勤務を制度化し本社ではフリーアドレス制を導入しております。

「成長戦略の推進」について、上下水道事業などの官需を事業領域とする水環境事業は、上下水道設備の更新需要を取り込むため、浄水場向け汚泥脱水機や下水処理場向け次世代型汚泥焼却システムの営業活動を推進してまいります。化学・鉄鋼・食品および環境・エネルギー関連の民需を事業領域とする産業事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により不透明感がありますが、拡大が予想される二次電池製造関連設備を拡販し、アフターサービス事業の営業活動を強化してまいります。5月に子会社化した高速攪拌機メーカープライミクス株式会社も事業拡大に貢献してまいります。

※ 第2四半期累計期間を「中間期」と記述しております。

戦略投資について、廃棄物ビジネスの拡大では、廃棄物処理設備の更新工事が竣工しました。市川工場跡地における物流施設の開発は、8月に工事を着工しました。引き続き、研究開発、M&A、基幹システム等の更新を推進してまいります。

## Q3

### これから月島機械グループが目指す方向性についてお聞かせください。

米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染拡大など事業環境はグローバルに変化し、不確実性を増しています。また、気候変動など環境問題への対応や、コーポレートガバナンス強化への注目が高まっております。

水環境事業においては、国内の水インフラ投資は堅調に推移しております。収益安定化に貢献するアフターサービス事業を強化するため、複数年の包括委託案件やPFI/DBOなどの官民連携事業をより一層推進するとともに、下水汚泥燃料化などの創エネルギー事業を展開し、温室効果ガス削減に貢献してまいります。また、海外の水問題を解決するため各国のニーズに対応した機器・プラントを展開しております。特に中国においては、汚泥処理案件の実績を着実に積み重ねており、引き続き汚泥処理設備の増設や補修案件の営業活動を推進してまいります。

産業事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が抑制されていることから、世界的な景気の停滞に留意する必要があります。厳しい事業環境ではありますが、技術を研鑽し成長が期待される二次電池製造関連設備の拡販に注力することで低炭素社会の実現に貢献するとともに、高効率なプラント・単体機器を展開し、皆さまの暮らしを豊かにする産業基盤の構築に貢献してまいります。

コーポレートガバナンスにおいては、グループ内部統制システムを再構築するなど、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

今後も、当社の事業を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値の向上に取り組んでまいります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 月島機械グループとは

当社グループは、製糖機械の設計、製造の過程で培われた「蒸留、晶析、遠心分離、計量・混合、焼却、貯留、乾燥、ろ過」をコア技術として保有し、それらを多種多様な分野に応用、展開することで発展してまいりました。

### 【官公需】水環境事業

国内外向け上下水処理設備の製造販売、  
運転管理、事業運営および廃棄物処理事業

### 【民需】産業事業

国内外向け産業関連（化学、鉄鋼、食品）および  
環境・エネルギー関連設備の製造販売



#### 主な事業内容

- 浄水場・下水処理場プラントの建設、水処理・汚泥処理機器、汚泥乾燥機、焼却炉等の製造販売
- 浄水、下水処理設備の運転・維持管理補修等
- 下水処理場における消化ガス発電事業
- 一般・産業廃棄物処理事業

#### 主な連結対象企業

- 月島テクノメンテサービズ株式会社
- サンエコサマル株式会社
- 寒川ウォーターサービス株式会社
- 尾張ウォーター&エナジー株式会社

#### 主な事業内容

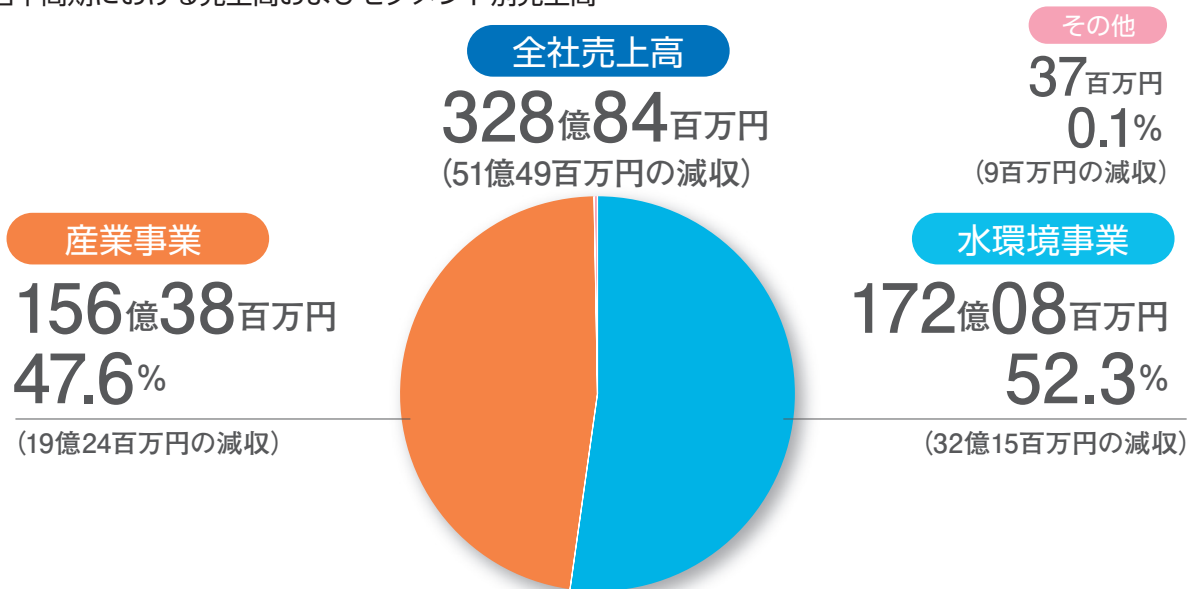
- 化学、鉄鋼、食品等プラントの建設
- ろ過機、乾燥機等の単体機器の製造販売
- 廃液燃焼設備、固形廃棄物処理等の環境プラントの建設、補修
- 電池製造関連設備などエネルギー関連機器、プラントの製造販売

#### 主な連結対象企業

- 月島環境エンジニアリング株式会社
- 月島マシンセールス株式会社
- TSKエンジニアリングタイランド株式会社
- 月島環境機械(北京)有限公司
- 大同ケミカルエンジニアリング株式会社
- BOKELA GmbH
- 三進工業株式会社
- プライミクス株式会社

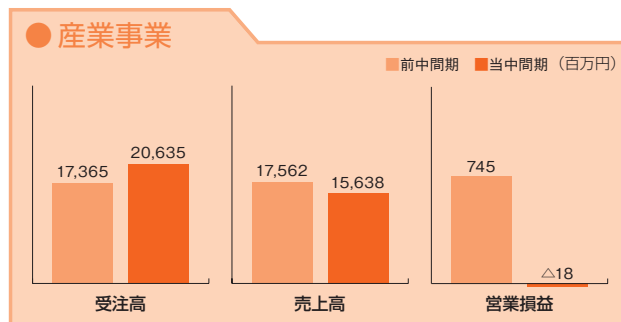
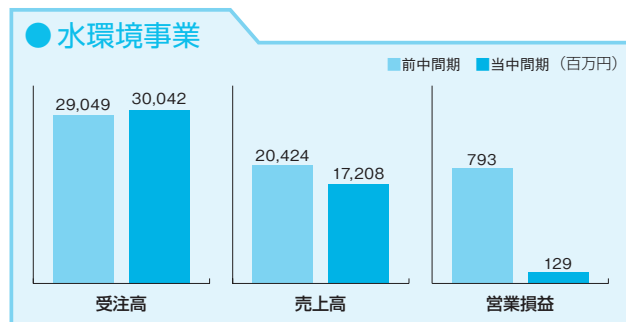
## 当中間期における業績

### ■当中間期における売上高およびセグメント別売上高



営業利益	1億18百万円	(前年同期比14億56百万円の減益)
経常利益	3億55百万円	(前年同期比15億42百万円の減益)
親会社株主に帰属する 中間純利益	1億41百万円	(前年同期比12億57百万円の減益)

### ■当中間期におけるセグメント別受注高・売上高・営業損益



第1四半期連結会計期間より一般・産業廃棄物処理事業を水環境事業へセグメント区分の変更を行っており、前年同四半期の数値は、セグメント変更後の数値で比較しております。

## 連結財務諸表 (要約)

(単位未満切捨てで表示しております。)

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>74,603</b>	<b>76,189</b>
現金及び預金	33,630	23,022
受取手形及び売掛金	23,947	41,653
電子記録債権	3,515	3,607
有価証券	220	11
たな卸資産	11,051	6,109
その他	2,238	1,785
<b>固定資産</b>	<b>62,748</b>	<b>52,151</b>
有形固定資産	38,687	33,670
無形固定資産	4,814	899
投資その他の資産	19,246	17,581
<b>繰延資産</b>	<b>2</b>	<b>—</b>
<b>資産合計</b>	<b>137,354</b>	<b>128,340</b>

(単位：百万円)

	当中間期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>35,075</b>	<b>41,087</b>
支払手形及び買掛金	7,684	15,745
電子記録債務	4,948	5,693
短期借入金	3,077	888
前受金	10,849	7,377
賞与引当金	1,924	2,444
完成工事補償引当金	815	943
その他	5,775	7,993
<b>固定負債</b>	<b>34,248</b>	<b>19,896</b>
社債	5,220	5,000
長期借入金	19,916	6,808
退職給付に係る負債	5,829	5,426
その他	3,282	2,662
<b>負債合計</b>	<b>69,324</b>	<b>60,983</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>66,413</b>	<b>66,575</b>
資本金	6,646	6,646
資本剰余金	5,569	5,537
利益剰余金	56,107	56,536
自己株式	△1,910	△2,145
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>330</b>	<b>△505</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,285</b>	<b>1,286</b>
<b>純資産合計</b>	<b>68,030</b>	<b>67,356</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>137,354</b>	<b>128,340</b>

### 中間期 (第2四半期累計期間) 配当

#### ● 中間期 (第2四半期累計期間) 配当の実施

当社は、「財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、毎期の業績、新規投資、連結配当性向等を総合的に勘案しながら安定配当に努める」ことを利益配分の基本方針としており、当中間期における配当を**1株当たり12円**とすることといたしました。

※2020年10月29日にプレスリリースを行っております。

当期の配当予想としましては、前期と同様に年間配当金を24円(中間期配当12円、期末配当12円)としております。

※2020年5月14日に公表した決算短信にて配当予想を掲載済み

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	前中間期 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
売上高	<b>32,884</b>	<b>38,033</b>
売上原価	<b>25,632</b>	<b>30,518</b>
売上総利益	7,251	7,515
販売費及び一般管理費	<b>7,133</b>	<b>5,940</b>
営業損益	<b>118</b>	<b>1,574</b>
営業外収益	<b>460</b>	<b>446</b>
受取利息	40	41
受取配当金	235	267
その他	183	138
営業外費用	<b>223</b>	<b>123</b>
支払利息	72	41
その他	150	82
経常損益	<b>355</b>	<b>1,897</b>
特別利益	<b>115</b>	<b>1,598</b>
特別損失	<b>5</b>	<b>1,192</b>
税金等調整前中間純利益	<b>465</b>	<b>2,304</b>
法人税等	274	799
中間純利益	<b>190</b>	<b>1,504</b>
非支配株主に帰属する中間純利益	49	105
親会社株主に帰属する中間純利益	<b>141</b>	<b>1,398</b>

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

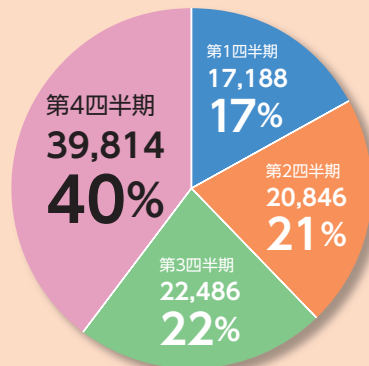
	当中間期 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	前中間期 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,167	4,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,080	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,655	△1,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,759	2,657
現金及び現金同等物の期首残高	20,856	28,139
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,615	30,796

### 当社決算の特徴

### 売上高計上は第4四半期に集中

2020年3月期の四半期毎の売上高計上額

単位：百万円



- 売上高の計上が第4四半期に集中するため、第1～第2四半期は前第4四半期に計上した営業債権・債務（受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金等）が減少する傾向にあります。
- 受注から納期までのリードタイムは概ね1年から3年となります。

## ■ プライミクス株式会社をグループ化

当社は、2020年5月にプライミクスホールディングス株式会社の株式を取得し、その事業会社であるプライミクス株式会社を子会社化いたしました。

プライミクス株式会社は、1927年の創業以来、高速攪拌機の専門メーカーとして確固たるポジションを確立しており、医薬品、化学品、化粧品、食品、電池分野など幅広い分野において国内外で豊富な実績を保有しております。

プライミクス株式会社を当社グループに迎え入れることにより、“攪拌”という新たな単位操作技術を獲得することとなり、晶析技術の高度化による競争力の強化や、医薬品・化粧品分野におけるコンタミレス/サニタリー技術の獲得など技術領域の拡大が可能になります。特に、近年成長が見込まれる二次電池製造関連設備においては、プライミクス株式会社は電極製造の後工程である混合に強みがあり、当社が注力している正極材活物質などの電極材料製造設備のノウハウ補完および連携した営業展開が可能になります。

このたびの株式取得により、当社グループのシナジーを発揮し、環境・エネルギー技術で持続可能な社会に貢献することで企業価値の向上を図ってまいります。

※ 本件の取締役会決議およびプレスリリースは2020年3月26日に、株式譲渡は2020年5月15日に実施しております。



超高速マルチ攪拌システム ラボ・リユーション®

## ■ サンエコサーマル株式会社一般廃棄物焼却施設更新および混焼化工事が竣工

当社の子会社であるサンエコサーマル株式会社は、産業廃棄物および一般廃棄物の減量・無害化のための廃棄物中間処理（焼却）事業および廃熱を活用した発電・売電事業を展開しております。施設は、産業廃棄物焼却設備と一般廃棄物焼却設備を所有・稼働しておりますが、一般廃棄物焼却設備の老朽化対応および産業廃棄物・一般廃棄物の混合焼却による処理効率向上を図るため、2018年10月より施設更新工事に着手しております。

このたび、老朽化した一般廃棄物焼却施設を更新し、一般廃棄物・産業廃棄物の混焼施設を整備するための工事が9月末に竣工いたしました。併せて、高効率熱回収設備を導入することで発電量も増加し、経営の安定化と事業拡大に貢献します。

引き続き、環境負荷の低減と廃棄物の適正処理・再資源化を推進してまいります。



## ■ <水環境事業>中国 上海市石洞口下水処理場向け汚泥処理二期工事 (汚泥脱水・乾燥・焼却) 遠隔監視による試運転を実施

当社が受注した上海市石洞口下水処理場向け汚泥処理二期工事(汚泥脱水・乾燥・焼却)が完了し、遠隔監視による試運転を実施いたしました。

今回の設備(汚泥脱水・乾燥・焼却設備(128トン-DS/日))は、当社の上海市向けの実績としては3件目の汚泥乾燥・焼却設備となります。下水道関連機器・設備の試運転は、機器・計装品の調整や運転制御パラメーターの調整などが必要となり、乾燥・焼却設備など熱を扱う設備は、水処理設備より機器点数が多いうえに、焼却炉内の燃焼状態など運転状況を確認しながら安全かつ最適な運転調整が必須であることから、従来は運転指導員が現場に常駐して対応しておりました。

今回実施した試運転は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から運転指導員の派遣が難しい情勢であることを考慮し、運転指導員が現場に常駐することなく国内の在宅勤務環境下で遠隔監視による運転確認を行い、検収条件を満足しました。

今後も、国内外において新型コロナウイルス感染拡大防止やソーシャルディスタンス確保の観点から、遠隔監視による運転指導や現場対応の要請があると思われます。当社では、今回の遠隔監視のノウハウやAI/IoTツールを活用することで、関係者の皆様が従業員の安全確保に配慮した事業活動に取り組んでまいります。



中国の監視室



下水汚泥処理設備



日本の遠隔監視

## ■ <産業事業>調味料等の製造・包装の一貫生産を行う工場への機器納入・設置工事が完了

当社は、味の素株式会社の調味料等の製造・包装の一貫生産を行う工場の建設に伴う関連機器の納入・設置工事について、味の素エンジニアリング株式会社経由で受注しておりましたが、このたび工事が完了しました。

新工場のコンセプトは、ICT・自動化先端技術の導入により労働生産性を高め、世界トップレベルの生産性を目指すとともに、お客様や社会のニーズに柔軟に応えるべく、品種切替え性に優れたプロセスを設計し、フレキシブルな生産を実現するものです。当社が納入した機器は、主に粉体の計量・混合に関連する機器であり、コンピューター制御で多品種少量に対応した全自動型の粉体計量システムであります。

当社の粉体計量システムは、数百種類の粉体計量実績があり、各種粉体特性に対応したシステムが提案できます。今後も粉体に関わる計量・混合システムの高機能化に取り組み、産業機器・プラント設備における生産性の向上に貢献してまいります。



TSKコンテナ® (写真は同型のテスト機)

## ■ <産業事業>南亜プラスチック向け水平ベルトフィルタを納入

当社の水平ベルトフィルタは、粒子を効率良くろ過・洗浄する装置で各種樹脂、電池用素材や自動車触媒原料などの分野で使われております。

南亜プラスチックは、台湾の南亜グループを代表する企業であり、プラスチック製品、電子製品、ポリエステル製品の製造・販売を行っております。

樹脂原料のろ過には当社の水平ベルトフィルタが採用されておりましたが、その更新についても当社が受注し、このたび納入しました。

当社は、化学・鉄鋼・食品や環境・エネルギー関連などの産業分野において、水平ベルトフィルタなどのろ過機や、遠心分離機、乾燥機などの単体機器を国内外で多数納品しております。今後も、産業分野における幅広いニーズに対応するとともに、生産性向上に貢献してまいります。

## ■ <研究開発> AI/IoTの取り組み(スマートグラス、ドローンの活用)

近年、国内の上下水道施設の現場運転管理業務においては、労働人口の減少、熟練技術者の不足といった課題が顕在化しております。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から現場立ち入りも制限される状況となっており、遠隔での現場運転管理業務支援に対する要望が高まっております。これら課題を解決するため、当社グループではAI/IoTを活用した様々なソリューションを検討しており、その取り組みの一例を紹介いたします。

### ■ スマートグラスの活用

現場作業員がスマートグラスを装着することで、遠隔地の熟練者が現場と同じ光景を共有し、状況を速やかに把握し的確な指示を行うことが可能になります。また、現場で災害が発生した場合でも、スマートグラスを活用することで被害状況や提供すべき物資などをリアルタイムで把握でき状況に応じた指示・支援体制を確立できることから、効率的な復旧支援が期待できます。

### ■ ドローンの活用

一般的なドローンは、上下水道設備など狭小空間への適用性には課題がありますが、今回活用するドローンは狭小空間での安定飛行に特化して開発された機体です。下水処理場の焼却設備の炉内点検、高所ダクト配管の劣化診断や、浄水場の躯体点検・診断など、足場を要する目視点検にドローンを活用した画像解析を適用し、効率的な設備診断技術確立することを目指しております。

当社グループでは、約100ヵ所の浄水場・下水処理場向けに運転管理や補修工事などのサービスを提供しております。今後も重要な社会インフラである上下水道設備において、AI/IoTを活用した現場業務のスマート化や効率的な設備診断技術の適用に取り組み、上下水道事業の持続的な成長に貢献してまいります。



スマートグラス



ドローン

## 企業理念

1. わが社は最良の技術をもって産業の発展と環境保全に寄与し、社会に貢献します

1. わが社は市場のニーズを先取りし、最良の商品とサービスを顧客に提供します

1. わが社は創意と活力によって発展し、豊かで働きがいのある企業をめざします

## 月島機械グループ企業行動指針

### 私たちの5つの約束

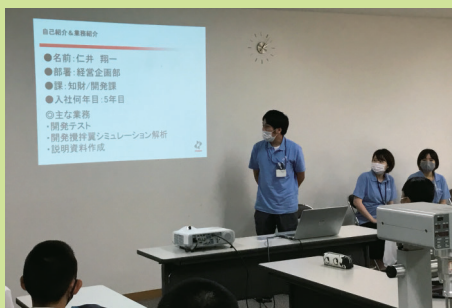
1. 健全で誠実な企業グループであり続けます
2. 法令を遵守し倫理にもとづき行動します
3. 技術・サービスで地球環境をまもり社会に貢献します
4. 人権を尊重します
5. 安全で働きがいのある職場環境をつくります

## プライミクス株式会社 淡路市立北淡中学校で出前授業を実施

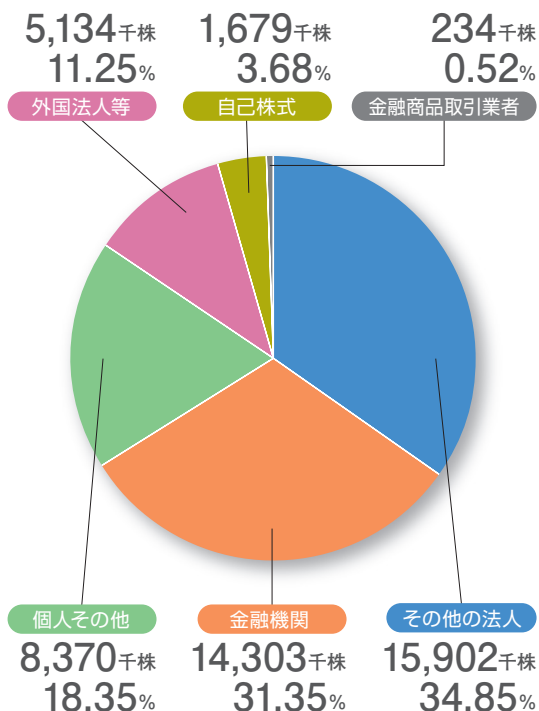
兵庫県では、中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感し、社会の一員としての自覚を高めるなど、生徒一人一人が自分の生き方を見つけられるよう支援する活動を推進しており、地域に学ぶ中学生・体験活動週間「トライやる・ウィーク」への取り組みを通じて社会全体で子供たちの人間形成や社会的自立の支援を行っております。

当社の子会社であるプライミクス株式会社では、この活動の一環として、淡路市立北淡中学校にて出前授業を行いました。中学2年生(約30名)を対象として、会社の事業紹介や一日の仕事内容を説明し、自社の攪拌機を使用したマヨネーズ作りを体験してもらいました。

今後も当社グループでは、出前授業などの活動を通じて、地域社会への貢献に努めてまいります。



## 所有者別株式分布状況



## 株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 1,679,721株を含む)	45,625,800株
株主数	4,557名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本製鋼所	2,476	5.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,337	5.31
大同生命保険株式会社	2,115	4.81
太陽生命保険株式会社	1,885	4.28
東京センチュリー株式会社	1,757	3.99
株式会社三菱UFJ銀行	1,344	3.05
月島機械取引先持株会	1,230	2.79
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,208	2.74
月島機械従業員持株会	1,146	2.60
GOVERNMENT OF NORWAY	1,055	2.40

(注) 1. 当社の自己株式 1,679,721 株は、上記の表には含めておりません。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主優待制度のご案内

**長期継続保有していただいている株主様に対して、  
長年のご愛顧への謝意として、長期保有特典を追加しました。**

1,000株以上ご所有のすべての株主様に新潟県魚沼産の  
コシヒカリ新米4kgを年1回進呈しております。

(注) 1. 毎年3月末日の株主名簿において、1,000株以上ご所有の株主様に対し、10月中旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。

2. 1.の株主様を除き、4月以降に当社株式を新規もしくは追加でご取得され、9月末日の株主名簿において合計して1,000株以上のご所有になられた株主様に対し、11月初旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。



### 長期継続保有の株主様

毎年3月末日の株主名簿において、3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様(※)に対し、新米(新潟県魚沼産こしひかり) 2kgを追加いたします。

※「3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様」とは、3月末日の株主名簿において、同一株主番号で3年以上継続して記録されている株主様(同一の株主番号で1,000株以上を、9月末日、3月末日の株主名簿に7回以上継続して記録されている株主様)といたします。



## ■会社概要

本 社	東京都中央区晴海三丁目5番1号
創 業	明治38年(1905年)8月
資本金	6,646,801,824円
従業員数	連結 2,786名 単体 651名
<b>主な事業所</b>	
支 社	東京支社、大阪支社
支 店・営業所	札幌支店、仙台支店、横浜支店、 名古屋支店、広島支店、福岡支店 沖縄営業所
工 場・事業所	室蘭工場、八千代事業所(R&Dセンター)
海外駐在員事務所	ハノイ駐在員事務所 ジャカルタ駐在員事務所 ヨーロッパ駐在員事務所 ムンバイ駐在員事務所

## ■月島機械グループ(子会社)

月島テクノメンテサービスク株式会社
サンエコサーマル株式会社
月島環境エンジニアリング株式会社
寒川ウォーターサービス株式会社
月島マシンセールス株式会社
月島ビジネスサポート株式会社
TSKエンジニアリングタイランド株式会社
月島環保機械(北京)有限公司
大同ケミカルエンジニアリング株式会社
BOKELA GmbH
尾張ウォーター&エナジー株式会社
三進工業株式会社
プライミクス株式会社
月島エンジニアリングマレーシア株式会社
月島エンジニアリングシンガポール株式会社
TSKエンジニアリング台湾株式会社

## ■役員

代表取締役会長	山田 和彦
代表取締役社長社長執行役員	福沢 義之
代表取締役専務執行役員	鷹取 啓太
取締役常務執行役員	藤田 直哉
取締役常務執行役員	川崎 淳
取締役	小田木 毅
取締役	間塚 道義
取締役	勝山 憲夫
常勤監査役	牧 虎彦
常勤監査役	吉加 訓
監査役	尾内 正道

(注) 1. 取締役小田木毅、間塚道義、勝山憲夫の3氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役吉加訓、尾内正道の両氏は社外監査役であります。



晴海本社



室蘭工場



R&Dセンター

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
公告の方法	電子公告による (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします)
公告掲載URL	<a href="https://www.tsk-g.co.jp/">https://www.tsk-g.co.jp/</a>
証券コード	6332

### ■お知らせ■

#### 1.ご注意

- (1)株主様の住所変更、単元未満株式の買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続き(買取請求等)につきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### 2.配当金計算書について

「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

## ホームページのご案内

<https://www.tsk-g.co.jp/>

当社ホームページでも積極的な情報開示を行っております。ぜひご覧ください。



## インベスターズガイドのご案内

当社の事業をより詳しくご説明した「インベスターズガイド」を発行しております。ご希望の方は、下記連絡先までご連絡下さい。郵送いたします。

連絡先：経営企画部(広報・IR担当) TEL:03-5560-6513



# TSK 月島機械株式会社

東京都中央区晴海三丁目5番1号  
TEL:03-5560-6511 (代表)

## UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

